

下請法や独禁法学ぶ

建コン協九州ら5団体
コンプライアンス研修会

建設コンサルタント協会
（建コン協）九州支部（田
中清支部長）と福岡県測量
設計コンサルタント協会
（福澤一博会長）、福岡県
地質調査業協会（香月裕宣
理事長）、日本補償コンサ
ルタント協会九州支部（白
石陽一支部長）、全国上下
水道コンサルタント協会



（水コン協）九州支部（松
尾禎泰支部長）は11日、2

024年度の「コンプライ
アンスに関する会員研修
会」を福岡市博多区の福岡
県中小企業振興センターで
開いた。写真。約230人
が聴講し、下請法や独禁
止法の順守について学ん
だ。

冒頭、白石支部長は協力
会社との取引を巡る法規制
が厳格化する中、「コンプ
ライアンス意識の重要性は
ますます高まっている。
（研修内容を）より良い職

場環境づくりに役立ててほ
しい」とあいさつした。

研修会では公正取引委員
会事務総局九州事務所の柏
木智宏下請課長が「下請法
について～親事業者として
遵守すべきこと～」、弁護
士法人いかり法律事務所の
高松賢介氏が「実効的な独
占禁止法コンプライアンス
プログラムの整備・運用に
ついて」をテーマに講演し
た。